

いずみさの昔と今 第367回

「政基公旅引付」にみる梅雨

6月といえば梅雨の季節です。雨が降るとあまり外には出られないため、この時期は好きではないという人は少なからずいる事でしょう。一方で農業にとって雨が降るかは死活問題です。これは昔も同じだったようで、日根荘の領主九条政基の日記「政基公旅引付」にも、梅雨やその後の時期の雨の少なさが水不足につながり、農業に影響を与えたことが記されています。政基が滞在した入山田村では、かんがいのため池が用いられていたと考えられ、梅雨の時期にどれだけ池に雨を確保できるかが農業を行ううえで重要でした。

さて、「政基公旅引付」には天気が記載されている日が多く、降雨の状況もあわせて分かります。政基が滞在した文亀元(1501)年から永正元(1504)年のうち、文亀2年と永正元年の2カ年は干ばつが起こっていません。まず文亀2年の天気を見ると、現在の暦でいうところの6月後半に11日も雨が降っており、政基も

連日の雨の恵みを喜んでいて記事があります。7月の前半と後半にはそれぞれ3日ずつの降雨にとどまっていますが、それでも干ばつにはいたりませんでした。次に永正元年では6月前半と後半に6日ずつ、7月前半は8日、後半は5日雨が降っています。この2カ年では後述する文亀元年と文亀3年に比べると雨が多く、水不足を問題とする記述は見られません。

一方で文亀元年と文亀3年の2カ年では干ばつが発生しました。

まず文亀元年は5月後半に7日雨が降ったことが確認できます。5月後半に雨が降った日が多いことから、この年では梅雨が早めに来たものと考えられます(実際に令和7年の梅雨は5月17日頃からです)。しかし、6月前半には3日、6月後半には1日、7月前半には2日と雨が降った日数が少なくなり、8月には2日しか雨が降らず、水不足が問題となります。そのため、9月2日(当時の暦では

7月20日)に雨乞いを行ったところ、2日後に雨が降り、その後も継続的な降雨があったために事なきを得ました。

次に文亀3年は6月前半に8日雨が降った日があり、中でも6月14日(当時の暦では5月20日)は、大雨で洪水が発生するほどでした。しかし、6月後半は一度も雨が降らず、7月前半も2日、それも限られた時間での雨でした。こうした状況下で7月7日(当時の暦では6月14日)には干ばつが問題となり、その後雨乞いをしますが効果はなく、結局この年は不作となってしまう。そのために文亀4年の2月には食糧不足による餓死者が問題となっています。この年の干ばつや飢饉は全国的な問題となっていたようで、他地域の文献にも同様の記述が見えます。

レイクアルスタープラザ・
カワサキ歴史館いずみさの
☎469-7140 Fax469-7141
休館日 月曜日、毎月最終木曜日(いずれも祝日の場合は開館し、その翌平日が休館)
開館時間
午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
入館料 無料

泉佐野 レトロ タイムスリップ

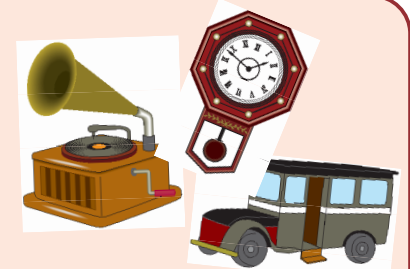
泉佐野市の昭和頃の懐かしい写真を紹介します。

㊤学校シリーズ(5) 北中小学校



▲昭和5年ごろの北中小学校。北中小学校は明治6年に創立されました。写真の2階建ての校舎は明治44年に落成した校舎で、1階には講堂と2教室がありました。

▼昭和40年の北中小学校の上空からの写真。赤線で囲まれた箇所が北中小学校です。昭和29年に現在地に移転しました。



▲現在の北中小学校の校舎。

泉佐野市の懐かしい写真は「泉佐野市デジタルアーカイブ (<https://adeac.jp/izumisano-city/top/>)」でも公開中! !